

台湾における東北PRイベント「日本東北遊楽日」の開催など 官民一体での東北プロモーションを実施しました

(一社)東北観光推進機構(以下、「東観推」という。)は、台湾における東北地方に特化したプロモーション事業「日本東北遊楽日」にほんとうほくゆうらくびを今年も官民で連携して実施しました。

東日本大震災以降の台湾からの支援に感謝の意を示すイベントとして2014年から継続的に開催している本イベントは今年で開催10回目を迎え、2日間で9.5万人(2023年:9.3万人)を超える来場者数を記録しました。会場にはオープン前から長蛇の待機列ができ、会場も常に多くの来場者で賑わうなど熱気に満ちた2日間となりました。特に、なまはげ太鼓やさんさ踊りなどの東北らしいパフォーマンスや東北の日本酒・ワイン・ウィスキーの試飲などが人気で、来場した多くの方に東北の魅力を印象付ける機会となりました。またジャズ・ミュージシャンの熊谷駿さまにサクソスをご披露いただき、新しい東北の魅力を発信していただきました。

本事業に合わせて、東北域内の自治体の首長をはじめ400名を超える東北の官民関係者が現地へ渡航し、一体となってPRを実施しました。東観推では、今後も東北一体となったイベントの開催等、各種施策を通じ東北の魅力を発信していきます。

1 一般消費者向け東北PRイベント「日本東北遊楽日」

- (1) 日時：2024年12月7日(土)・12月8日(日) 10:00~18:00(現地時間)
- (2) 会場：華山1914文化創意産業園區 東2A~2D館/中2館
- (3) 主催：(一社)東北観光推進機構
- (4) 出展団体：東北・新潟の自治体、DMO、民間企業、台湾現地航空会社 計46団体
- (5) イベントコンセプト

「Tohoku travels will continue ー東北の旅はこの先も続くー」

東日本大震災時の台湾からの支援や、現在実施している「愛台湾キャンペーン」など、お互いを想い合う東北と台湾の間にしかない特別な「深い絆」と「愛情」と共に、何度でも訪れたい日本東北の魅力を発信する。

- (6) 来場者数 1日目(天候：曇り時々雨)：44,844人
2日目(天候：曇り)：50,921人 合計 95,765人



2 BtoB セミナー・個別相談会・交流会

台湾現地の旅行会社および学校関係者に対し、東北の観光および教育に関するプレゼンテーションと、東北の自治体・民間事業者等が参加する個別相談会を JNTO と連携して開催しました。

今回は学校を対象とした東北全体での教育旅行の相談会も併せて実施され、台湾側参加者が熱心に参加している様子があった他、商談会では約 3 時間にわたり東北・台湾双方の参加者が積極的な商談を行いました。当日は 100 社を超える現地旅行会社および 30 校の参加があり、今後の東北への誘客を効果的に促進する機会となりました。

(1) 日時：2024 年 12 月 6 日（金）14：00～17：45（現地時間）

(2) 会場：台北晶宴民権館（住所：台北市中山區民権東路三段 2 號）

(3) 主催：日本政府観光局（JNTO）

(4) 参加団体：（速報値）

台湾側 現地旅行会社 101 社 148 名、学校 33 校 36 名

日本側 自治体、民間事業者等 68 団体 171 名



3 現地航空会社訪問

東北の官民が一体となり、東北への直行便・チャーター便を就航しているエバー航空、スターラックス航空、タイガーエア台湾、チャイナエアライン（中華航空）および日本航空の 5 社を訪問し、今後の路線拡大の要請や現地の最新事情について情報交換等を行いました。東北路線については各社から予約状況が好調であるといった報告もあり、台湾から東北への送客について引き続き期待ができる結果となりました。一方、東北から台湾への送客を増やしてほしい旨の要望をいただきました。今後、台湾路線を維持拡大していくためにも、重要な課題になるため、各自治体等と連携しながら取り組んでまいりたいと思います。



4 その他

台湾における官民連携による観光プロモーション事業は、次年度も同時期に実施予定です。

以上

【お問い合わせ先】 写真等の提供依頼も承ります。

（一社）東北観光推進機構 市場戦略部/伊達、小沼

メールアドレス：suishin@tohokutourism.jp

[TEL:022-721-1291](tel:022-721-1291)

＜参考：過去の開催実績＞

【2023年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2023 新・魅力再発見！
- 日時：2023年12月9日（土）～10日（日）の2日間
- 場所：華山1914文化創意産業園区（東2A～2D館）
- 来場者数：93,140名



【2022年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2022 手牽手，一起樂遊東北！
- 日時：2022年12月17日（土）～18日（日）の2日間
- 場所：華山1914文化創意産業園区（西1号館+屋外スペース）
- 来場者数：78,371名



【2021年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2021 同心防疫 日本東北 FUN 心遊
- 日時：2022年3月5日（土）～6日（日）の2日間
- 場所：花博公園 花海広場
- 来場者数：75,610名



【2019年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2019 Cross Culture TOHOKU & TAIWAN
- 日時：①2019年11月16日（土）～17日（日）の2日間
②2019年11月23日（土）～24日（日）の2日間
- 場所：①世界貿易センター3号館フロア②高雄統一夢時代 夢想広場
- 来場者数：①132,715名②147,520名



【2018年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2018 だいすき♡♥とうほく
- 日時：2018年12月14日（金）～16日（日）の3日間
- 場所：華山1914文化創意産業園区（東2A～2D/4棟連結使用）
- 来場者数：134,997名



【2017年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2017 だいすき♡♥とうほく
- 日時：2017年12月8日（金）～10日（日）の3日間
- 場所：華山1914文化創意産業園区（東2A～2D/4棟連結使用）
- 来場者数：124,726名



【2016年度】

- 名称：日本東北遊楽日 2016 だいすき♡♥とうほく
- 日時：2016年12月9日（金）～11日（日）の3日間
- 場所：華山1914文化創意産業園区（東2A～2D/4棟連結使用）
- 来場者数：115,000名



- 名称：台湾での東北トップセールスの実施
- 日時：2016年8月23日（火）
- 概要：台湾からの観光客を誘致するため、東北・新潟県の知事、仙台市長、経済団体のトップが出席し、一丸となって東北の魅力をPRしました。台湾の観光関係者及び政府関係者に震災で台湾から世界最大規模の義援金が寄せられたことへの感謝を伝えるとともに、東北の食や祭りを紹介し交流を深めました。



【2015 年度】

- 名称：日本東北遊樂日 2015 だいすき♡♥とうほく
- 日時：2015 年 12 月 4 日（金）～6 日（日）の 3 日間
- 場所：華山 1914 文化創意産業園區（東 2 A～2 D/4 棟連結使用）
- 来場者数：51,067 名



【2014 年度】

- 名称：日本東北六縣感謝祭
- 日時：2014 年 12 月 19 日（金）～22 日（月）の 4 日間
- 場所：花博公園 争艶館
- 来場者数：20,000 名



2024年 台湾 - 東北直行便状況

2019冬季スケジュール

2019年定期便就航状況
週23便

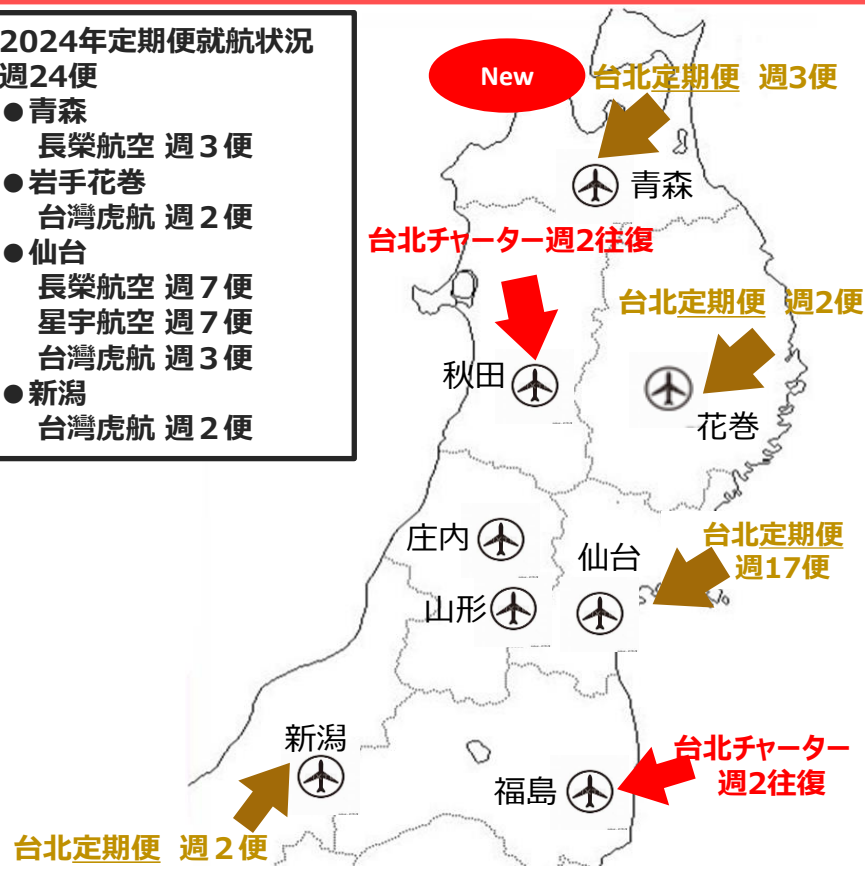
- 青森
長榮航空週 2便
- 岩手花巻
台湾虎航週 2便
- 仙台
長榮航空週 7便
台湾虎航週 5便
樂桃航空週 7便
- 新潟
遠東航空週 2便



2024冬季スケジュール

2024年定期便就航状況
週24便

- 青森
長榮航空 週3便
- 岩手花巻
台湾虎航 週2便
- 仙台
長榮航空 週7便
星宇航空 週7便
台湾虎航 週3便
- 新潟
台湾虎航 週2便



- 台湾と東北の直行便は2024年12月時点で週24往復
- 青森空港から台北への定期便が再開
- 東北に広く台湾路線が運航し、往来が非常に活発化

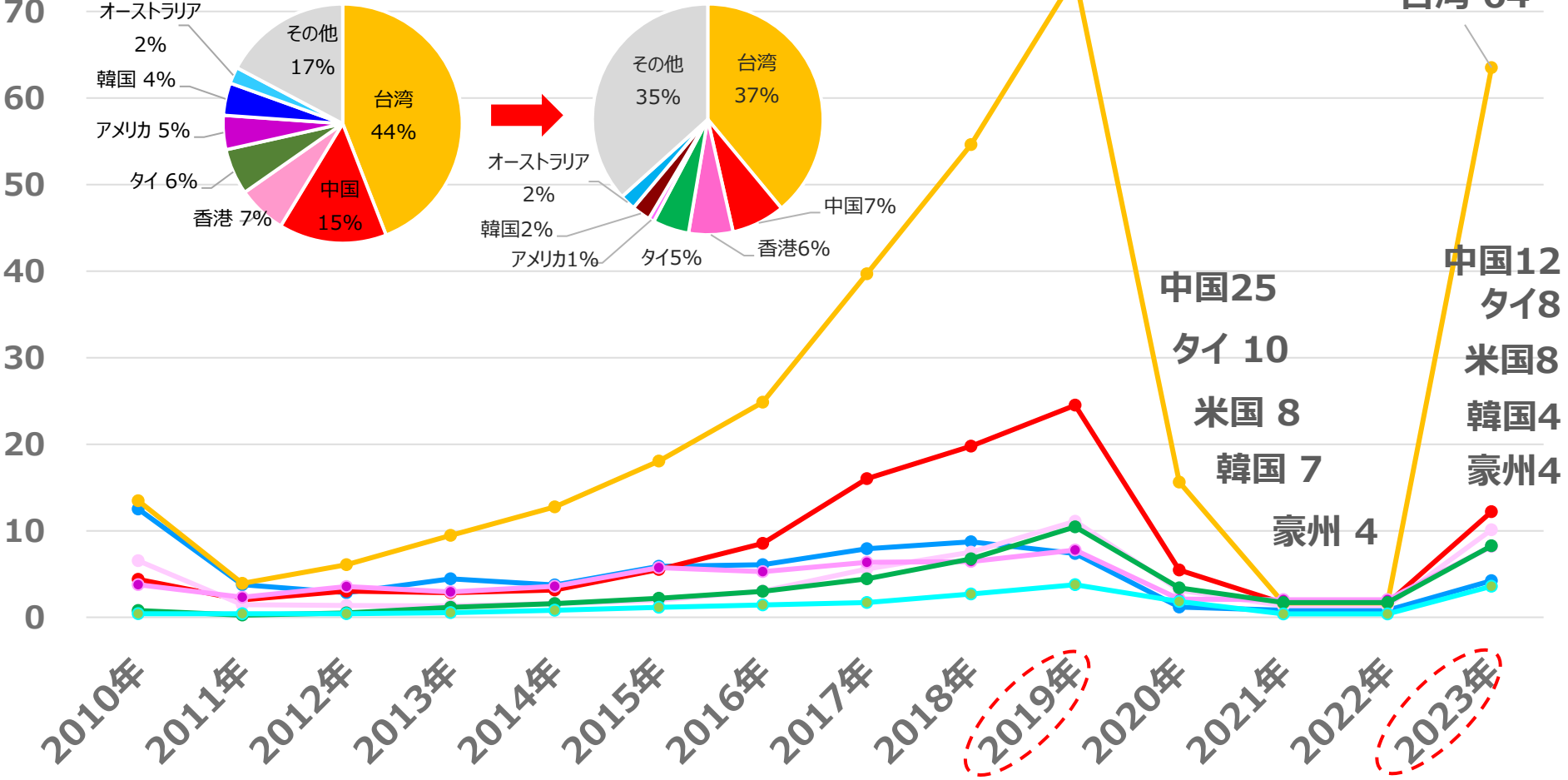
市場別 外国人延べ宿泊者数の推移（東北6県）

- ・2019年は、台湾が全体の4割強のシェアを占め、中国、香港、タイ、アメリカと続いていた
- ・2023年は、台湾が全体の4割を切っているものの圧倒的なシェアを占め、その他各国（東南アジアや欧州等）からのシェアが増加している

(単位：万人泊)

【2023年 市場別シェア】

【2019年 市場別シェア】



※2024年実績については、別途お問い合わせください。
 ※出典：観光庁 宿泊旅行統計調査12月推計（従業員数10名以上の施設の数値）